

意見書

今定例会の最終日に、議員から意見書案が提出され、原案可決となりました。意見書の内容は以下のとおりです。

中東地域の緊張緩和と早期事態収拾を求める意見書

下記の意見書を、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣宛てに送付しました。

アメリカ合衆国とイスラエル国は2月28日、イラン・イスラム共和国に対し大規模な先制軍事攻撃を開始した。3月11日現在、イラン全土では民間人1300人を含む多数の死者が発生している。

イランは報復攻撃を行い、イスラエルで死者が出たほか、アラブ首長国連邦ではイランからのミサイル攻撃を迎撃した際に発生した破片により死者が発生し、周辺国でも双方の軍事行動による被害が拡大している。

軍事攻撃と報復が続けば、被害がさらに広がり、地域の不安定化を招き、大規模な戦争につながる危険がある。

国際機関や多くの国々から、すべての軍事攻撃の中止と国際法遵守を求める声が上がっている。両国のイラン攻撃を受けて開催された国連安全保障理事会の緊急会合で、グテーレス事務総長はアメリカとイスラエルによる攻撃とイランによる攻撃の両方を非難し、すべての加盟国に対し国連憲章を含む国際

法に基づく義務を厳格に遵守するよう求めた。

この紛争により、ホルムズ海峡が実質的に封鎖された場合、原油輸送に影響を及ぼし、日本国内でも燃料、エネルギー価格が高騰し、物価高に追い打ちをかけるおそれがある。

いかなる理由があろうとも、国際法を無視した武力攻撃を行い、罪のない人々に犠牲が出ることは許されない。

日本政府には、当事国を含めた各国に対して、国際法を遵守し、武力でなく対話を基調とした外交努力により、早期に事態収拾を働きかけるよう、「小江戸かわごえ平和都市宣言・2005」を行っている川越市の議会として求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年3月25日

川越市議会

被爆者の声を聴く証言会

3月24日、全議員を対象として埼玉県原爆被害者協議会（しらさぎ会）による証言会を開催しました。

証言会では、外務省から「非核特使」の委嘱を受け、各地での講演や核兵器廃絶の訴えなど、平和の尊さを伝えるために幅広く活躍されている同協議会の坂下紀子さんから、お話を伺いました。



証言を聴く議員の様子

議場コンサート

2月24日、今定例会の開会日に議場コンサートを開催しました。

今回は、アンサンブル・ルディックの皆さんにより、『ポルカ出発進行』『フニクリフリクラ』『愛の讃歌』『もりのくまさん』の4曲を演奏していただき、議場を盛り上げていただきました。



議場で演奏を行ったアンサンブル・ルディック

編集後記

この「議会だより」の各ページを彩っている緑色。3、6、9、12月に開催される各定例会市議会の翌々月に発行する「議会だより」ごとに、基調色があるのをご存じですか。3月議会は緑、6月議会は青、9月議会は山吹色、12月議会は赤。それぞれ春の新緑、夏の青空や海、秋の紅葉、冬の寒さを和らげる暖色をイメージしています。色だけで何月議会か見分けられれば、あなたも立派な議会だより“通、です。(江田 崇)